

デビュー応援企画
オンライン「超」入門 団体バスツアーの準備練習会
(主に日本語)
2025年5月8日(木)
【終了報告】

団体バスツアーにこれから挑戦する方や、「これで良いのか分からないままやっている」という方、引率や人を案内する仕事の経験があまりなかった方向けに、団体バスツアーの準備練習会をオンラインで実施しました。2024年の秋シーズン前に新企画として実施した研修ですが、2025年は早めに設定しました。11名(会員7, 非会員4)が、たっぷり4時間の演習に取り組みました。言語は英語10名、フランス語1名で、各地から参加がありました。

まずは、ツアー中の場面を設定して、バス内でのお客様へのアナウンスを実践。行程を読み上げるだけでお客様の行動につながるだろうか？ お客様は必要な準備ができるだろうか？ お客様は何を気にしているだろうか？ 考えながら順番にトライしていくうちに、参加者のアナウンスに色々な情報や配慮が加わっていきます。情報は多ければ良いわけでもなく、それは今必要だろうか？と考えるのも大事…。さらに、自分が持っている情報をお客様に分かるようにいわば翻訳してから伝えること、地名・人名の羅列にならないようにすること、課題がどんどん加わります。

ツアーの行程表を元に実際の場面をシミュレーションして、口に出して言うこと、それを聞くお客様の身になって考えてみる。朝の出発時、観光地への到着前、食事前など、場面を変えてその練習をしながら、ガイドは何を気にすべきか、何を調べておくべきか、考えていきました。

バスツアーならではの車窓の案内についても、通り過ぎる間にコンパクトに伝えること、見えているものを手がかりに何を話すか、お客様にはどう見えているか、などなど、難しさも実感しながら練習しました。

参加者アンケートでは、「とっさに話をまとめるのは良い練習になった」、「お客様の立場にたってわかりやすく言うことが大事と意識した」、「地名・人名に頼り過ぎない、まずは大きく説明するなどのポイントが大変参考になった」、「他の人のガイディングを見る機会が少ないので、他の参加者の例が参考になり、とても刺激になった」、「団体バスツアーのガイドについて、事例を通して具体的に演習できた」、「自分では気づかなかったガイディングのコツを得られた」などのコメントがありました。

外国語で話すことに気を取られずに情報を整理するため「ほぼ日本語」で実施しましたが、後半は希望の方は登録言語での案内にもチャレンジしました。皆さん最初から最後まで、積極的に集中してとりくまれました。

団体を引率してスムーズに旅行をリードしながら、訪問地の観光案内をし、車中でもさまざまな話題で日本の旅を盛り上げる…団体バスツアーのガイドは気力体力を含めて総合的な力がいりますが、行程をもとに、準備や工夫を重ねて臨むことができます。今回の準備練習がご活躍の手がかりになることを願っています。

(講師・担当 伊藤淳子)